

Castelo de Silves

について



写真: Pedro Reis - Turismo do Algarve

シルヴェス城と城郭都市 (Castelo e Cerca Urbana de Silves) シルヴェスのツアーは、ポルトガルで最も美しいイスラム教徒の主要な要塞の1つであり、アルガルヴェで最大の城と見なされているこの城を訪問せずには完結しません。

1910年に国定記念建造物に指定されたこの城の歴史は、シルヴェスがローマ支配下で強力な占領拠点となり、また繁栄する商業の中心地に変貌した時代にさかのぼります。

716年頃、ムーア人の征服により、ローマ人が都市の上に建設した要塞に大きな変化をもたらされました。街が立っている丘の最高点に位置する要塞は、小川の右岸に沿って伸びる塔と防御手段を備えた新しい城郭で強化されました。

この泥岩でできた堅固な軍事防衛システムは、粘土、砂利、砂、石灰と、この地域の赤い砂岩(シルヴェスの砂岩)の混合物でできており、その赤みを帯びた色合いの源になっています。1755年の地震で大きな被害を受け、都市の成長に伴って吸収されましたが、城郭は、シタデル (Citadel) とメディナ (Medina) という2つの広大なエリアが残っています。

シタデルは、丘の頂上に建てられ、11の正方形の塔(うち4つは、14世紀と15世紀に改築を経て、円天井の部屋とゴシック様式のアーチ型のドアが作り込まれている)によって防護されており、ムーア(モウラ、Moura)と犬(カイエシュ、Cães)という2つの貯水池があります。

この2つの井戸には2つの伝説があります。1990年代までシルヴェスの人々に水を供給していたムーアの貯水池 (Cisterna da Moura) については、伝説によると、聖ヨハネの夜に、ムーア人の王女が金の櫛を持った銀のボートでさまよいながら、王子が彼女を幻滅させる魔法の言葉を発するのを待ち、自らの死を嘆くとのこと。犬の貯水池 (Cisterna dos Cães) では、トレジャーハンターが犬を放ち、イスラム教徒が城の地下金庫室に残した大きな財宝を取りに行かせたと言われていますが、犬は戻ってきませんでした。

一方メディナは2つの塔によって防護された門によって城塞につながっていました。

城の入り口には、1189年にイスラム教徒から初めてシルヴェスを征服したポルトガル王サンチョ1世を称える像がありますが、キリスト教徒によって町が完全に征服されたのは1242年になってからです。

問い合わせ先

Silves Castelo de Silves 8300-117 Silves

電話 : 282 440 837
Eメール: castelo@cm-silves.pt
ウェブサイト : <https://www.cm-silves.pt/pt/menu/106/castelo-de-silves.aspx>

バリアフリー案内